

音楽科（プログラミング教育）学習指導案

1 題材名 打楽器でリズムアンサンブル（教育芸術社 小学生の音楽5）

2 使用教材 scratch 3

3 教材の目標

(1) 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、音楽をつくる技能を身に付ける。

【知識・技能】

(2) 楽器の音の組み合わせ方や重ね方を工夫した演奏の仕方や、反復、呼びかけとこたえ、変化などを用いて、どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしたりしながら、曲全体を味わって聴いたりする。

【思考・判断・表現】

(3) 友達と協働して音を合わせて表現する楽しさを味わって主体的に取り組む。

【主体的に学習に取り組む態度】

4 プログラミング活動内容

リズムの特徴を考え、いろいろな重ね方を工夫して音楽を作る学習である。友達と協働しながら、全体の構成を考えた後、scratch でプログラミング活動を行う。タブレット型端末上で実際に音を出して確かめながら、まとまりのあるリズムアンサンブルを作る。

5 指導計画（全4時間）

時	主な学習内容
1	<p>打楽器の響きや音色の組み合わせを楽しもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 楽器の材質や音の響きに気を付けながら、即興的に演奏し、音の特徴を確かめる。 ○ 選んだ楽器を使ってグループごとにリズムを重ねて演奏し、響きの組み合わせを確かめる。 ○ 6つのリズムから1つ選び、グループで重ねて演奏し、響きやリズムの面白さを考える。
2	<p>音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の仕組みに気を付けて、教科書の「例」を演奏する。 ○ どのようなリズムアンサンブルをつくりたいか音楽の仕組みをもとに話し合う。
3 (本時)	<p>プログラミングで組み合わせを確かめながら、リズムアンサンブルを演奏しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えたリズムアンサンブルがつくりたいイメージのものかどうか scratch で確認する。 ○ scratch でイメージと合っているか確かめる。 ○ イメージ通りのリズムアンサンブルができれば、実際の楽器で演奏の練習をする。
4	<p>自分たちのリズムアンサンブルを完成させ、発表し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちが作ったリズムアンサンブルを友達に発表する。 ○ 気付いたことや感想などを発表し合う。

6 本時 (3 / 4)

(1) 目標

- 音楽の仕組みのよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽へと構成することを通して、プログラミングしながら、全体のまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくる。
- 打楽器の音色の組み合わせやリズムの重ね方に興味・関心をもち、リズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組む。

(2) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導の手立て
つかむ・見通す	<p>1 前時を振り返る。</p> <p>2 めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> プログラミングで組み合わせを確かめながら、リズムアンサンブルを演奏しよう。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> ワークシートでリズムアンサンブルを考えたあと、Scratchで確かめて演奏すればいいんだな。 </div> 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に学習した内容（音楽の仕組み）について振り返り、グループのイメージに合ったリズムアンサンブルを作ることを確認させる。 ○ 演奏したものがイメージに合わないときは再びワークシートで考えてからプログラミングをすることを確認させる。
調べる	<p>3 scratch を用いて、グループで考えながらリズムアンサンブルを作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「くり返す」「呼びかけとこたえ」「ふえていく」「へっていく」「変化」などの音楽の仕組みを、どこでどのように使っているかな。 ○ scratch で作ったものを聴いてみよう。もっと工夫した方がいいところはないかな。みんなで話し合おう。 </div> 	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシートを活用し、どのようなリズムアンサンブルをつくるか思考を整理することができるようにする。 ○ scratch を児童が簡単に操作することができるように、必要なブロックを事前に作っておく。 <input checked="" type="checkbox"/> ワークシートで考えた重ね方を Scratch に入力したり聴いたりすることで、よりよいリズムアンサンブルになるよう工夫することができるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽の仕組みの使い方について思考し、全体のまとまりを意識したリズムアンサンブルを作ろうとしている。
深める	<p>4 完成したリズムアンサンブルを実際に演奏する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ Scratch に合わせて演奏の練習をしよう。 ○ 演奏の仕方（強弱、速度等）に気を付けよう。 </div> 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終的に作り上げたリズムアンサンブルを実際に演奏するとき、scratch の演奏を参考にさせる。
振り返る	<p>5 今日の学習をふり返り、学んだことや感じたことを発表する。</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふり返りをさせることで、本時でできるようになったことへの達成感を味わうことができるようにする。